

答 申 書

(案)

令和4年 月 日

新座市総合計画審議会

第5次新座市総合計画基本構想について

私達新座市総合計画審議会委員は、令和元年10月に新座市長から、市が目指すまちづくりの指針となる第5次新座市総合計画基本構想について意見を頂きたいとの諮問を受けました。

理想のまちについて私達は審議を進めておりましたが、途中発生した新型コロナウイルス感染症は人々の日常や価値観を大きく変え、改めて理想の姿を考え直す必要が生じることとなり、正に時代の転換点にある中での審議となりました。

このような状況にあっても、私達はそれぞれの立場から慎重に審議を重ね、別冊のとおりまとめました。

また、審議に当たってお示しいただいた基本計画の検討資料を踏まえ、基本計画策定に当たっての附帯意見を付すとともに、新座市の将来に向けた私達の希望を次に示させていただきます、答申といたします。

- 地球温暖化等の環境問題、人口減少・少子高齢化の進行、災害等の危機管理への関心の高まり、デジタル化の加速など、市を取り巻く社会状況は目まぐるしく変わり、加えて、今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、人々の生活様式や価値観は大きく変化しています。こうした状況下にあっても、時代のニーズを的確に捉えながら、新座市が持続可能なまちとして、更なる発展をしていくことを期待します。
- 新座市は、首都近郊に在りながら、自然環境に恵まれており、これがまちの魅力の一つとなっています。こうした魅力を強みと捉え、最大限いかしてくことで、他の自治体にはない新座市の独自性（オリジナリティー）を発揮していくことを期待します。
- 新座市が将来にわたって持続可能なまちとなるためには、新座市が抱える課題の解決に向けて、行政だけでなく、市民・各種団体・民間企業などの多様な主体の力を結集させ、まちづくりを進めていく必要があります。こうした取組を進めることは、まちを活性化させるばかりでなく、市の厳しい財政状況の解決を図る上でも効果的

であると考えます。基本構想にある「共創のまちづくり」には、多様な主体と共に新座市の価値や魅力を創り上げていこうとする市の強い姿勢が感じられます。この姿勢を具体的な取組として実践していくことを期待します。

- 計画が円滑に推進されるためには、市民と計画を共有し、市民の理解・協力を得ることが不可欠です。市政情報の発信に当たっては、あらゆる機会や多様な媒体を通じて、情報が拡散されるよう努めていくことを期待します。
- SDGs が掲げる「誰一人取り残さない」という理念は、市政運営にも共通するものです。市民一人一人が互いの多様性を認め合うとともに、デジタル化が進む中での ICT 分野における高齢者へのサポートや、障がいのある方への地域ぐるみの支援など、地域共生社会の実現を目指した包括的な行政システムへの転換を円滑に図っていくことを期待します。

新座市においては、本審議会における様々な議論や意見を踏まえ、第5次新座市総合計画を策定し、将来都市像である「未来もずっと暮らしに『プラス』が生まれる 豊かなまち 新座」の実現に向けた取組を進めていかれるよう願っています。

新座市総合計画審議会
委員一同

新座市総合計画審議会の審議経過

年月日	会議名	摘要
令和元年10月31日	令和元年度 第1回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員委嘱・紹介 ○ 会長・副会長の選出 ○ 市長諮問 ○ 第5次新座市総合計画について 「第1編 序」・「第2編 基本構想」
令和元年11月26日	令和元年度 第2回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新座市の財政状況について ○ 将来都市像について ○ 「基本構想の推進のために」の審議
令和元年12月18日	令和元年度 第3回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本政策1【福祉健康】の審議
令和2年 1月31日	令和元年度 第4回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本政策1【福祉健康】の修正案の審議 ○ 基本政策2【教育文化】の審議
令和2年 3月23日 ～同月31日 (書面)	令和元年度 第5回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本政策2【教育文化】の修正案の審議 ○ 基本政策3【都市整備】の審議
<p>※ 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、市が第5次新座市総合計画の策定を2年先送ることを決定し、コロナや市の財政状況を踏まえ、修正した素案が改めて示されることとなったため、その間審議会による審議を中断した。</p>		
令和4年 1月24日 (リモート)	令和3年度 第1回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第5次新座市総合計画について 「第1編 序論」・「第2編 基本構想」 ○ 審議経過の確認 ○ 基本構想(素案)の修正点について
令和4年 2月17日 (リモート)	令和3年度 第2回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本政策1【福祉健康】の審議 ○ 基本政策2【教育文化】の審議
令和4年 3月25日 (リモート)	令和3年度 第3回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本政策1【福祉健康】の修正案の審議 ○ 基本政策2【教育文化】の修正案の審議 ○ 基本政策3【都市整備】の審議
令和4年 4月22日 (リモート)	令和4年度 第1回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本政策3【都市整備】の修正案の審議 ○ 基本政策4【市民生活】の審議 ○ 基本政策5【安全安心】の審議
令和4年 5月19日	令和4年度 第2回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本政策4【市民生活】の修正案の審議 ○ 基本政策5【安全安心】の修正案の審議 ○ 「基本構想の推進のために」の審議
令和4年 6月23日	令和4年度 第3回	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「基本構想の推進のために」の修正案の審議 ○ 審議会答申案について 「第1編 序論」・「第2編 基本構想」
令和4年 6月30日	—	<ul style="list-style-type: none"> ○ 答申

新座市総合計画審議会委員名簿

No.	所属	氏名	備考
1	十文字学園女子大学 教育人文学部児童教育学科教授	星野 敦子	会長
2	立教大学 コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科教授	原田 晃樹	副会長
3	跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科 教授	坪原 紳二	
4	明成法務司法書士法人代表	高橋 遼太	
5	村上法律事務所	村上 俊之	
6	新座市町内会連合会元会長	赤川 治男	
7	新座市商工会専務理事	山野辺 範一	
8	社会福祉法人新座市障害者を守る会理事長	石井 英子	
9	新座市社会福祉協議会事務局長	高野 光雄	
10	新座市PTA・保護者会連合会元会長	刈田 友枝	
11	新座市文化協会副会長	伊藤 まり子	
12	(公募による市民)	納谷 眞	
13	(公募による市民)	内藤 幸代	
14	(公募による市民)	津川 清美	
15	(立教大学学生)	鎌田 万葉	
16	(十文字学園女子大学学生)	杉山 董	
17	(跡見学園女子大学学生)	森 倅奈	